

## 問題発見型／解決型学習(FBL/PBL) テーマ提案 (学生募集内容)

テーマ名称	電子カルテのデザイン
実施責任者	医学部附属病院 教授 黒田知宏 デザイン学ユニット 特定准教授 荒牧英治
実施協力者	医学部附属病院 准教授 田村寛 講師 岡本和也 EHR 共同研究講座 特定准教授 糸直人 特定講師 小林慎治 経営管理大学院 講師 山内裕 京都市立芸術大学 教授 辰巳明久 工学研究科 教授 富田秀直
テーマの背景	業務情報システムを設計することは、とりもなおさず、その業務が行われる組織そのものを設計することに他ならない。医療分野においても、2000年代に入り急速に電子カルテが普及したことによって、臨床業務の進め方そのものが大きく変わり、導入から15年が経とうとする今、新しい臨床業務の進め方にあった、新しい電子カルテの設計が求められるようになってきている。ここでは、全く新しい電子カルテを、その使い方(新しい病院のあり方や、コミュニケーションの方法)も含めて提案することを目的として、学習を行う。
実習の概要	まず、電子カルテの概要を理解するための講義を行う。次に、2015年に予定されている京大病院電子カルテシステム更新に向けて、病院内から提出された多くの「新システムに関する要望書」を読み込み、問題点を考えて、共通の問題意識を持ったグループを形成する。最後に、問題点を解決するためのターゲットとなるサブシステムを定めて、その具体的なデザインを行い、仕様書や試作システム、利用シーンのシナリオや、それが利用される社会イメージなどにとりまとめる。
実施計画、実施場所	主に医学部附属病院 詳細は実施計画を参照。
履修条件	学習の過程で、実際のカルテやインシデントレポートなどを閲覧する可能性があるため、秘密保持契約など京大病院が求める情報管理義務を履行できることが必要である。
募集人数	3名以上、10名以下
募集締切	5月2日(金)
応募資格	京都大学の学部生、大学院生、他大学の学部生、大学院生、社会人 応募多数の場合には、デザイン学履修生を優先する。
応募方法	以下の項目を記載したメールを送付。 (デザイン学履修生はガイダンスでの指示に従うこと) To: medinfoq@kuhp.kyoto-u.ac.jp CC: fblpbl-application@design.kyoto-u.ac.jp Subject: [FBL/PBL 参加申込] テーマ名称 本文: 氏名、所属組織、役職・学年、メールアドレス、Web ページ、テーマ名称、背景知識・専門性、応募の動機、その他
履修者の決定	5月9日(金)までにメールで参加の可否を通知。

問題発見や解決に用いるデザイン理論やデザイン手法	業務分析、ユーザエクスペリエンスデザイン、組織デザイン、サービスデザイン、臨床概念モデルデザイン、ブレインストーミング
理論や手法の学習方法	現代電子情報通信選書 知識の森 医療情報システム (オーム社)
実習の公開方法	終了後 Web にて公開する
成績評価方法	出席 3 割、活動状況 3 割、最終レポート・発表 4 割
特記事項	•

## 実施計画

コマ	日程	場所	実施内容
5	5月	附属病院	イントロダクション、基礎知識の学習(講義)
5	6月	附属病院	要望書の読み込み、問題確定、基本設計、詳細設計
5	7月	附属病院	仕様書策定(システム試作)、発表

※KRP: デザインイノベーション拠点(京都リサーチパーク 9号館 5階)